

「たからや」は解体

倉 吉

アスベストと耐震性に問題 石田市長が方針

倉吉市の石田耕太郎市長は7日の市議会本会議で、アスベスト(石綿)と耐震性が問題になっ

ている解体費の捻出、入り受け、04年から市民団体の移転先などに利用するフォローが今後の焦点となる。

同施設(鉄骨5階建て、敷地面積約4100平方メートル、建物延べ面積約1万1千平方メートル)は、閉店した旧大型スーパーマーケット店舗を鳥取市内の業者から2003年に無償で譲

り受け、04年から市民団体の事務所などに利用。現在、約35団体が入居している。今でもアスベストが露出している。同日の本会議で大田進議員の質問に対し、石田市長は「アスベ

ストの存在が一番大きく、囲い込みをして利用してもらっているが地震で破損すると飛散する可能性がある。いつまでもこの施設を使い続けるわけにはいか

ず、将来的な財政負担する方向で考えないとい

問題もある。解体す

けない」と述べた。



石田市長が解体方針を示した「シビックセンターたからや」=倉吉市宮川町